

機械翻訳ソフトの支援が受け入れられる日本語

世界へ「物、事、考え」を誤解なく伝えるには、平明な日本語で文書作成する必要があります。それは世界の共通語である英語へ翻訳しやすい日本語のことです。つまり英語型に近い日本語であれば、正確に英語へ転換できる能力を持った翻訳者はたくさん居ますので質の高い翻訳が得られます。また翻訳ソフトの支援も受けられますので効率の良い翻訳作業となります。「日→英」翻訳ソフトの翻訳品質は、入力される日本語文章によって大きく差がでます。平明で且つ論理的に展開された文書構成であれば相当なレベルまで手伝ってくれる筈です。70～80点の翻訳品質を得ることも可能です。とにかく問題は元の日本語文章にあります。

下記の(元)日本語と修正日本語は、知り合いの翻訳者が提供してくれた文章です。試しに(元)日本語と(修正)日本語を、とある翻訳ソフトに掛けてみました。

(元)日本語

取り扱いが容易な部材がベルトコンベア上に適切に配置されている。

英語(機械翻訳)

The member that the handling is easy is suitably located on belt conveyor.

(修正日本語)

部材がベルトコンベア上に配置されている。

その部材は取り扱いが容易である。

その配置は適切である。

英語(機械翻訳)

A member is located on belt conveyor.

The handling is easy for the member.

The arrangement is appropriate.

勝手に意味を解釈して翻訳は出来ない、原文に忠実翻訳するしかない

下の囲みは、原文(日本語)を翻訳者はどのように解釈するのかを示した。翻訳者に、その分野の技術知識があれば、何とか理解できる部分もあろうが翻訳者へ、それを求めることはできない。翻訳者は、あくまでも原文に対して忠実に翻訳しなければならない。翻訳者は勝手に意味解釈をして、翻訳をすることは許されない。【資料提供:篠原泰正】

原文・1)

さらに、吸気管圧力が所定値以上となる時には、排気ガスの逆流が起こり難くなり、吸入空気量の減少分が少なくなることも考慮されている

【解釈】

吸気管内部の圧力が、あらかじめ定められた値以上になれば、排気ガスの逆流は減り、したがって、吸気管へ吸入される空気の量が増える事実も説明されている。

原文・2) 前述の従来技術により、吸気管内へスロットル弁を介して新気だけが流入する場合には、バルブオーバーラップの有無が考慮されて、吸気管圧力に基づき吸入空気量を算出することができる。

【解釈】

- 1 新しい空気は、スロットル弁を介して、吸気管に取りこまれる。
- 2 吸気管に取りこまれた空気が、その新しい空気だけの場合は、その吸気の量は、吸気管内部の圧力で算出することができる。
- 3 ただし、バルブオーバーラップが生じているかいないかで、算出の式は異なる。

因みに英訳では、「新しい空気のみがスロットル弁を通して吸気管に流れ込む場合には吸気管圧力で空気量が算出できる」、となっている。